



バックアップとリストアの設定にコマンドを追加する

Snap Creator Framework

NetApp
January 20, 2026

目次

バックアップリストアの設定にコマンドを追加する	1
補足コマンドを実行する場所	1
補足コマンドを追加する場所	1
Snap Creator エージェントに対して追加コマンドを許可します	1
コンフィギュレーションに追加コマンドを追加します	2

バックアップとリストアの設定にコマンドを追加する

場合によっては、 Snap Creator で使用できないコマンドを実行しなければならないことがあります。Windows ホストで FC または iSCSI を使用している場合は、 Snap Creator の標準コマンドではなく SnapDrive コマンドを使用してバックアップを行い、 OS レベルでファイルシステムの整合性を確保することができます。

補足コマンドを実行する場所

追加コマンドは、デフォルトでは Snap Creator エージェントに対して実行されます。サーバ上で追加コマンドを実行するには、テキストサーバを指定してコマンドを前に実行し、続けてコロン（ : ）を入力します。たとえば、「 server : C:\myscript.bat 」と入力します。

Agent で補足コマンドを実行する場合は、 Agent の allowed_command.config ファイルにそのコマンドを含めることによって、コマンドの実行を明示的に許可する必要があります。サーバ上で追加コマンドを許可する必要はありません。

補足コマンドを追加する場所

Snap Creator の GUI または Snap Creator の CLI を使用して、バックアップおよびリストア構成にコマンドを追加できます。



このマニュアルでは、 GUI を使用してコマンドを追加する方法を示します。CLI の使用方法については、を参照してください "『 Snap Creator Framework 4.1.2 Administration Guide 』"。

- ・関連情報 *

"Snap Creator エージェントに対して追加コマンドを許可します" "コンフィギュレーションに追加コマンドを追加します"

Snap Creator エージェントに対して追加コマンドを許可します

Snap Creator エージェントに対して補足コマンドを実行するには、エージェントの allowed_command.config ファイルにそのコマンドを含めることで、コマンドの実行を明示的に許可する必要があります。

allowed_command.config は、 Snap Creator エージェントのインストールディレクトリの etc サブディレクトリにあります。例：

- ・UNIX ホストでは、 /install-path/scAgent4.1.x /etc/allowed_command.config を指定します
- ・Windows ホストの場合は、 C :\Program Files\NetApp\Snap Creator _Framework\scAgent4.1.x \etc\allowed_command.config を指定します

Agent で補助コマンドを使用できるようにするには、エディタで allowed_command.config を開きます。コマンドプロンプトでコマンドを入力するのとまったく同じように、コマンドをそれぞれ専用の行に入力します。

重要なケースです。完全修飾パス名を指定してください。パス名にスペースが含まれる場合は、引用符で囲みます。例：

```
"C:\Program Files\NetApp\SnapDrive\sdcli.exe"  
myscript.bat
```

変更を有効にするには、Agent を再起動します。



セキュリティ上の理由から、ワイルドカードエントリ (*) を使用してすべてのコマンドを許可しないでください。

コンフィギュレーションに追加コマンドを追加します

コンフィギュレーションファイルを作成した後、コンフィギュレーションに追加コマンドを追加できます。このコマンドは、Snap Creator サーバまたはエージェント上で実行できます。

Agent で補足コマンドを実行するには、Agent の allowed_command.config ファイルにコマンドを追加しておく必要があります。

デフォルトでは、追加コマンドは Agent で実行されます。サーバ上で追加コマンドを実行するには、テキストサーバを指定してコマンドを前に実行し、続けてコロン（:）を入力します。たとえば、「server : C:\myscript.bat」と入力します。サーバ上でコマンドを許可する必要はありません。

Snap Creator の GUI または Snap Creator の CLI を使用して、バックアップおよびリストア構成にコマンドを追加できます。



このマニュアルでは、GUI を使用してコマンドを追加する方法を示します。CLI の使用方法については、[「Snap Creator Framework 4.1.2 Administration Guide」](#) を参照してください。

1. [プロファイルと構成]ペインで構成ファイルを選択し、[* コマンド]タブをクリックします。

使用できるコマンドタイプは次のとおりです。

コマンドタイプ	説明
アプリケーションの休止	プラグイン以外でのみ使用します。このコマンドタイプは無視してください。
アプリケーションの休止を解除します	プラグイン以外でのみ使用します。このコマンドタイプは無視してください。
PRE Exit (終了前)	致命的なエラーのあとに Snap Creator で何を実行するかを指定するコマンドには、このタイプを使用します。

コマンドタイプ	説明
Snapshot コピーの作成	独自の Snapshot コピー作成コマンドを実行するには、このタイプを使用します。



GUI で使用できるコマンドは、サポートされているコマンドの一部だけです。アプリケーション、アーカイブ、マウント / アンマウント、POST の各コマンドの詳細については、を参照してください "『[Snap Creator Framework 4.1.2 Administration Guide](#)』"。

2. [* コマンド] タブで、使用するコマンドタイプのセクションまでスクロールし、[* 追加] をクリックします。
3. 「* ここにコマンドを追加 *」と入力して、コマンドを入力します。

SnapDrive for Windows を使用してバックアップを作成するには、Snapshot コピー作成コマンド・タイプのセクションに次のように入力します。

```
"C:\Program Files\NetApp\SnapDrive\sdcli.exe" snap create -s %SNAME-%SNAP_TYPE_%SNAP_TIME -D F G H
```

ここで、

- 「C : \Program Files\NetApp\SnapManager for \SnapDrive\sdcli.exe」は、SnapDrive CLI のデフォルトのインストールパスです。
 - %SNAME-%SNAME_%SNAP_TYPE_%SNAP_TIME には、構成ファイル名、Snapshot ポリシー（時間、日、または月）、および Snapshot コピーが作成された日時から Snapshot コピー名を作成するように指定します。
 - D はスイッチ、F G H はバックアップするデータのマウントポイントです。ヒント：サーバー上でコマンドを実行するには、コマンドの前にテキストサーバーを付加し、その後にコロン (:) を付けます。
4. 入力に問題がなければ、Enter キーを押します。
 5. 手順を繰り返します #step_3F9C83DD05D84075AD0277213FD67C56 から #step_FBEDD7AE105F42138EB35315EA9FA7CC 別のコマンドを追加します。
 6. [構成コンテンツ] ペインで [保存] をクリックして、変更を保存します。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。